

## 世界創造都市フォーラム 2008 in KANAZAWA

### 「創造都市の発展と連携をめざして」



#### 基調講演 ジャックラング

フランス元文化大臣

・ 伝統と現代性の中に深く根を下ろす金沢は伝統工芸が息づくとともに、21世紀美術館をはじめとした現代美術に挑戦している。金沢は過去において創造的であり、今日、

未来においても創造的である。このようなまち、金沢が創造都市としてユネスコのネットワークに登録されることを期待している。

・ 政治家の多くは文化芸術への投資はムダで高くつくものであると敬遠してきた。しかし、まちを美しくすること、美術館を創ること、教育にお金をかけることは経済に波及し、都市に、名声とともに教育レベルや生活水準の向上などの見返りを与えるものである。



#### シンポジウム

- ・ レベッカ・ワーズバーガー氏（サンタフェ）は、まちの歴史的な成り立ち、クリエイティブ・ツーリズムの取組についてプレゼンテーションを行った。
- ・ ターニャ・ミュールハンス氏（ベルリン）は、創造性について経済的なアプローチによるプレゼンテーションを行った。

- ・ マウロ・フェリコリ氏（ポローニャ）は、大学の文化への影響、創造産業地区など特徴的な取組についてプレゼンテーションを行った。
- ・ 山出 保金沢市長は、伝統工芸とそれらを基礎に発展している創造経済について、ユネスコ・クラフト都市を目指す意欲とともにプレゼンテーションを行った。
- ・ 創造都市の発展と連携に向けて、各都市が何をできるのかを議論した後、まとめとして「金沢アジェンダ」を採択した。